

## グローバル化の功罪

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者  
加入協会

関東財務局長（金商）第430号  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2024.3.5

人+産業金融=成長  
成長を支える投資の原点へ



## グローバルとインターナショナルの違い

インターナショナルは、字義としては、国家と国家の関係ですが、実際には、一つの国家を中心にして、その国家と他の国家との関係を意味しています。それに対して、グローバルは、字義通り、国家を超えた地球という次元にあります。故に、理屈上、真のグローバルは、地球が一つの国家に統合されたときに成立します。そして、地球が一つの国家になれば、国家という概念自体が根本的に変質するはずですが、現状、国家は、他の国家との関係において、即ち、インターナショナルな地平において、成立しているからです。

## 社会課題解決の主体としての企業

現代のグローバル経済のもとでは、企業活動は国境を越えて展開され、企業の国籍自体が無意味化しています。国連のSDGsはその典型ですが、国民国家では解決できなかった、人類に共通する課題の解決主体として、企業価値を高めるために合理的な経営行動をとる企業への期待が高まります。

## 国際分散投資への影響

完全なグローバル化は、企業の無国籍化を生じさせて、株式の国籍を無意味にするため、国別の分散効果は本質的な意義を失います。一方で、ローカルなものの魅力は高まるので、グローバル化の影響を受けないニッチな投資対象にこそ、真の分散効果があるといえます。

## 多様性(ダイバーシティ)

グローバル化とは、何か一つのものに統合されることではありません。そもそも、理性以外には人間には共通するものはなく、全てが個性的なのです。グローバルは、理性による支配であると同時に、多様な感性、心性、価値観、言語、食べ物、着るものなど全ての個性的なものの共存です。故に、グローバルと並んで、もう一つの重要概念が多様性(ダイバーシティ)になるわけです。グローバルは、多様性と組み合わせると、真に意味のあるものになるのです。

## グローバルとマルチナショナルの違い

マルチナショナルは多国籍であり、国籍を背負っている一方、グローバルとは国境に関係はなく、ここに大きな違いがある。

# グローバル経済の影響

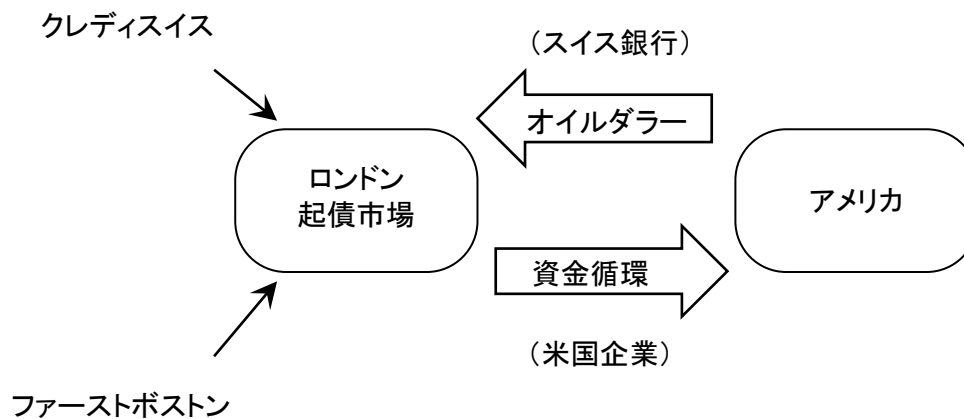
- ⇒ グローバルとは端的に人と人との関係のこと
- ⇒ グローバルな発想では、企業に国籍はなく、一企業が一顧客に商品売ることを意味し、無国籍企業として、世界展開できてこそ、真のグローバルとなる
- ⇒ 発想の転換が求められる
- ⇒ さらに全ての個性的なものとの共存、つまり多様性と組み合わせあって、真に意味のあるものになる
- ☞ 日本においては日本的なものを徹底した先に真のグローバルがある

## 真の国際分散投資

- グローバル化においては、地球全体が閉鎖された経済圏
  - しかし、地球上全ての資金調達手段に投資することは不可能
  - また各国の基軸通貨に拘束される
- ⇒ 国際分散投資の第一歩は、地球全体のなかから一部の投資対象を選択し、自分なりの地球を定義することこのとき、一方では、地球全体を複製する、即ち、地球を主にして、そのなかに日本を位置付けるべきではありますが、他方では、日本の円という特定の通貨から投資するのであれば、日本を主にして、日本に対する関係で、日本以外の地球を定義する方向も重要になります。
- 日本を含む地球という視点（グローバル）
  - 日本を除いた外国という視点（インターナショナル）

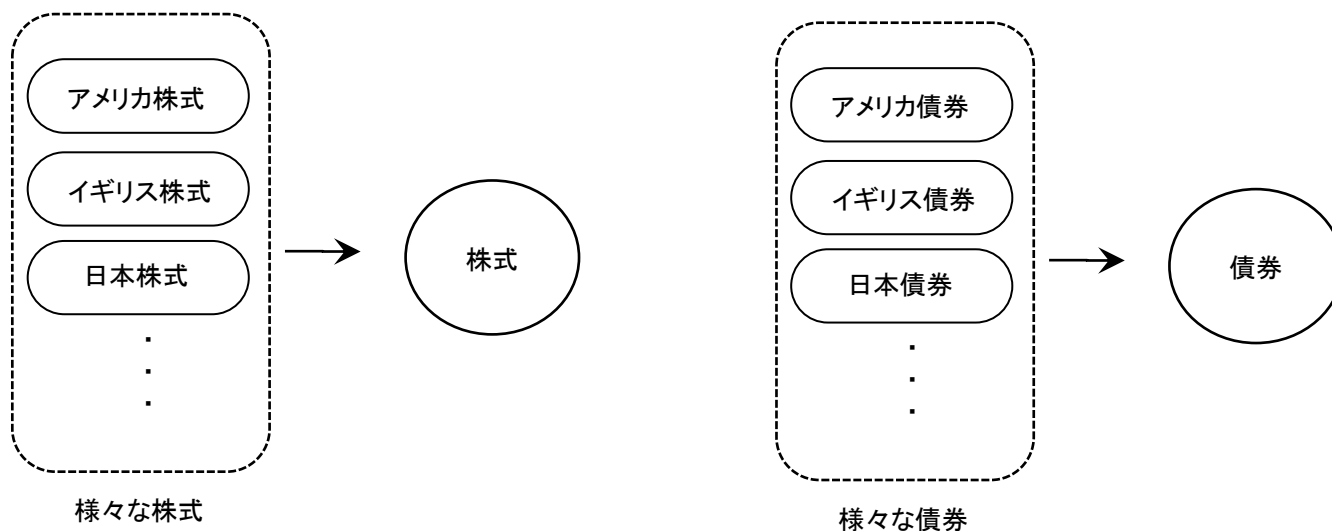
# 金融のグローバル化

- ⇒ 1980年頃、当時アメリカの大きな問題の1つにあったのが、多額のオイルダラーの流出
- ⇒ 未だに不明確であるものの、流出したオイルダラーはスイスの銀行等に集積していたと言われている
- ⇒ 英国のサッチャー首相、米国のレーガン大統領の主導のもと、ドルの起債市場をロンドンに創出
- ⇒ 巨額のオイルダラーを、アメリカに循環する経路としてロンドンを利用
- ⇒ 米国の発行体とスイスの投資家という組み合わせの実現
- ⇒ スイスの有力銀行クレディスイス・米国の有力投資銀行ファーストボストン
- ⇒ 以来四十年、ロンドンは世界の金融市場として君臨



# グローバル化による投資対象の収斂と拡大

- ⇒ グローバル経済の進展により、国際的なルールの統一化
- ⇒ 金融政策の連携が強まるにつれ、各国の債券は限界的な対象として投資妙味があるものの、各国債券の分散効果は徐々に低下
- ⇒ 同様に株式でも、完全なグローバル化においては、企業の無国籍化を生じさせ、株式の国籍を無意味にし、国別の分散効果は本質的な意義を喪失
- ⇒ 投資対象が一つの株式に統合



- ⇒ 株式、債券、多種多様な実物資産、投資としての融資、プライベートエクイティなど、地球上の資産すべてを視野に入れた投資対象の拡大や政治リスクを回避したものとしての投資
- ⇒ グローバル化により、よりローカルでニッチな投資対象への魅力が高まり、真の分散効果を発揮

## 講演後アンケート

---

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/qaCGbyWAcznSudkr7>

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。